

第９回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会資料

第８回委員会以降の取組経過報告書

令和２年２月１３日

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会事務局

第8回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

議事概要

- 1 開催日時 : 平成31年2月26日(火) 16:00~17:30
- 2 場 所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神117-1)
- 3 出席委員 : 委員長 山崎 英樹
委 員 山下 潔、上田 進一、藤原 昭男
横川 裕、高橋 裕司、大作 和弘 (名簿順)

4 議事次第

- ① 開 会
- ② 委員長挨拶 山崎 英樹飯南町長
- ③ 出席者紹介
- ④ 議 事
 - (1) 第7回委員会以降の取組経過の報告
 - (2) 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定について
 - (3) 志津見ダム貯蔵酒試行内容及びスケジュールについて
 - (4) その他
- ⑤ 閉 会

5 配布資料

- 資料-1 第7回委員会以降の取組経過報告書
- 資料-2 平成30年度アクションプラン実施内容報告書
- 資料-3 平成31年度アクションプラン実施計画(案)
- 資料-4 第2回変更 地域活性化に資する志津見ダム貯蔵酒試行計画(案)

6 委員長あいさつ

- ・ 30~40代の住民の皆さんで志々未来会議が開催されている、3月2日にも「みんなで志々を元気に」の題で話し合うと聞いており、大変心強い。飯南町においても今年度から集落实態調査を行い、4地区で各地域の実態をしっかりと捉まえた活性化策を話し合っているが、志々未来会議はこれらに先んじたものであり、水源地域ビジョンと絡めた取り組みをしっかりと前進させて参りたい。
- ・ うぐいす茶屋では、活発な取り組みにより年々お客さんも増えていると聞いている。ここでは「地域おこし協力隊」の方が新しいメニューとして、ぜんざいや小倉トースト、水ようかんなど開発されているが、特に地域で採れた小豆を使った特色がある大判焼きの製造と販売に力を入れて頂いている。水源地域ビジョンの一環として応援できないものかと考えている。
- ・ こうした取り組みを行っている志々地区においても、人口増とまでは行かないがIターン

やUターンは着実に進めている。みんなで水源地域ビジョンをしっかりと実行することによって地域をさらに元気にして参りたい。

- ・ 本推進委員会は平成23年度にスタートして今年で8回目となり、志津見ダム水源地域ビジョンも本年度から後期のプランが開始されているなかで、アクションプランの推進母体の「志々を元気にする会」は本年度すでに6回開催、さらに近く7回目を開催予定と伺っており、ますます活発に活動して頂いている。
- ・ 元号が改まるなか、志津見ダムは完成から8年の歳月が経過するが、この志津見ダムは下流域の人々の安心と安全の為に、本当に多くの皆様のご理解とご協力によって造られたダムである、この意義や地元の思いを次の新しい時代にしっかりと伝えて参りたい。ご協力をお願いします。

7 議事要旨

① 第7回委員会以降の取組経過報告

- ・ 事務局から、資料－1、資料－2により取組経過報告について説明を行った。
- ・ 特に意見なし。

② 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定について

- ・ 事務局から、資料－3により今後の予定について説明を行い、承認された。
- ・ 議事における委員の主な意見は以下のとおり
 - フラワーバレーのポピー・コスモスの花付きが悪くなってきている。連作により土地が痩せてきているので、種まきの時期や施肥を工夫するなどしっかり対応していただきたい。
 - 現在、獅子で行っている田舎体験は、大学との連携を深めつつ継続して実施してもらいたい。また、他地区でもやりたいという希望があるので進めてもらいたい。
 - ダム湖公園の植栽については、長く生育の悪いまま放置されている。将来日陰が得られるように植栽と維持管理をしっかりと願います。
 - 志津見を中心とした周辺整備事業やコスモス祭、ポピー祭も平成とともに回を重ねてきている。元号が変わることもあり、何か思い切った企画を出してほしい。
 - うぐいす茶屋のトイレは、スペースの問題もあり、必ずしも来訪者が満足するようなものになっていない。以前あった道の駅構想も含め、うぐいす茶屋の周辺整備を考える必要があると考えている。また、うぐいす茶屋の展示品の工夫も願います。
 - もみじの植栽の上に山の木が覆い被さってきたところがある。もみじが自由に伸びるような環境整備が必要である。

③ 志津見ダム貯蔵酒試行内容及びスケジュールについて

- ・ 事務局から、資料－4により試行内容及びスケジュールについて説明を行い承認された。
- ・ 特に意見なし。

④ その他

- ・ 特に意見なし。

以上

2. 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 第8回委員会の議事内容と対応状況

第8回委員会議事内容	令和元年度の実施内容
フラワーバレーのポピー・コスモスの花付きが悪くなってきている。連作により土地が痩せてきているので、種まきの時期や施肥を工夫するなどしっかり対応していただきたい。	ポピーは追肥や早めの中耕除草作業、コスモスは播種前のケイフン堆肥の散布、播種時期をずらした栽培など行い、花は前年より改善できた。 来春のポピーも前年同様に全畑スジ撒きし、中耕作業も雪が降る前に終えた。ポピーの発芽状況は今のところ順調であり、今後も引き続き適正な植栽管理に努めていく。
現在、志々で行っている田舎体験は、大学との連携を深めつつ継続して実施してもらいたい。また、他地区でもやりたいという希望があるので進めてもらいたい。	今年度より必須科目から選択科目に変更になり、参加者の減少を心配したが、過去に体験された学生を含め多くの学生に参加していただいた。 このつながりを大切にしながら他地区での実施を引き続き検討していく。
志津見ダム湖公園の植栽については、長く生育の悪いまま放置されている。将来日陰が得られるように植栽と維持管理をしっかりと願います。	令和元年度 志津見ダム上流公園に高木（クロガネモチN＝3本・ヤマザクラN＝3本・ケヤキN＝1本）・低木（サツキツツジN＝30本）を植栽。夏場の灌水、冬場の施肥を行い、適切に維持管理を実施していく。
志津見を中心とした周辺整備事業やコスモス祭、ポピー祭も平成とともに回を重ねてきている。元号が変わることもあり、何か思い切った企画を出してほしい。	来年度のコスモス祭、再来年度のポピー祭はそれぞれ第30回となることから、記念となるような企画を検討していきたい。
うぐいす茶屋のトイレは、スペースの問題もあり、必ずしも来訪者が満足するようなものになっていない。以前あった道の駅構想も含め、うぐいす茶屋の周辺整備を考える必要があると考えている。また、うぐいす茶屋の展示品の工夫も願います。	トイレの充実等周辺整備は重要であると認識している。周辺整備についてどのような手法や財源があるのか関係機関で引き続き協議をしていく。 うぐいす茶屋の展示品についても、関心を持ってもらえるよう適正な展示管理に努めていく。
もみじの植栽の上に山の木が覆い被さってきたところがある。もみじが自由に伸びるような環境整備が必要である。	もみじの植栽の上に覆い被さっている立竹木を伐採し、自由に伸びるよう環境整備を行った。

■ ポピー・コスモスの花付き改善状況



中耕除草作業



ケイフン散布作業



スジ撒き